

ハンディキャップとは

(公財)日本ゴルフ協会

■ハンディキャップについて

ハンディキャップの目的は、技量の異なるプレーヤー同士が公平な基準で競い合えるようにすることにより、ゴルフをより楽しめるようにすることです。本システムは各プレーヤーの技量差に拘わらず公平なハンディキャップを提供し、プレーヤーのスコア変動に応じて JGA/USGA ハンディキャップインデックスを調整します。またプレーヤーの潜在技量と関係のない悪いスコアを排除し、JGA/USGA ハンディキャップシステムの継続性を高めています。JGA/USGA ハンディキャップインデックスはすべてのプレー方式に通用し、JGA が認めたゴルフ倶楽部(査定倶楽部)に所属する個人に対してのみ発行します。

■JGA/USGA ハンディキャップインデックス

JGA/USGA ハンディキャップインデックスとは、標準難易度(スロープレーティング 113)のコースにおけるプレーヤーの潜在技量を示した尺度で、小数第1位までの数値で表示されます。

JGA/USGA ハンディキャップインデックスを取得するためには、プレーヤーは認可を受けたゴルフ倶楽部に所属してスコアを提出し、提出枚数が5枚に達した後、JGA ハンディキャップ規定(USGA ハンディキャップシステム準拠)に基づいて倶楽部はプレーヤーに JGA/USGA ハンディキャップインデックスを発行することができます。

■コースレーティングとは

コースレーティングとは、スクラッチゴルファーが通常のコンディションでプレーした場合のコース難易度を示す尺度です。小数第1位までの数値で示され、ヤーデージ、実効プレー距離、および障害難易度が、スクラッチゴルファーのスコアに及ぼす影響度に基づいて評価されます。日本では JGA/USGA コースレーティングの名称で使用します。

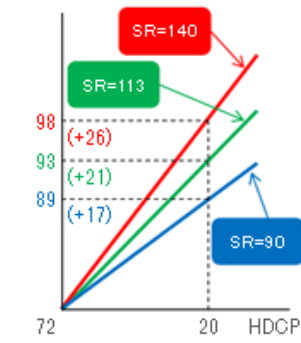
■ボギーレーティングとは

ボギーレーティングとは、通常のコンディションにおけるボギーゴルファーにとってのコース難易度を評価したものです。ヤーデージ、実効プレー距離、および障害難易度が、ボギーゴルファーのスコアに及ぼす影響度に基づいて評価されます。

■スロープレーティングとは

膨大なスコアデータを綿密に統計分析し、ゴルファーの技量とコースの難易度によるスコアの変動を標準化したものがスロープレーティングです。コースレーティング(スクラッチゴルファーの想定スコア)に加えて、ボギーレーティング(ボギーゴルファーの想定スコア)という尺度を設け、両者の数値差に基づいて算出します。コースレーティングとボギーレーティングの差が大きければスロープレーティングは高くなり、その差が小さくなればスロープレーティングは低くなります。

スロープレーティングは、最小 55 から最大 155 までの数値で示され、標準難易度のコースのスロープレーティングは 113 です。



グラフの傾き=スロープレーティング

すべての技量のゴルファー難易度を反映したレーティング
すべてのコースに対応できる互換性を確保

➡ スロープレーティング

$$\text{ボギーレーティング} - \text{コースレーティング} = \text{スコア差}$$

$$\text{スコア差} \times \text{係数} \begin{matrix} 5.381(\text{男子}) \\ 4.24(\text{女子}) \end{matrix} = \text{スロープレーティング} \begin{matrix} \\ (\text{55} \sim \text{155} \cdot \text{標準} \text{113}) \end{matrix}$$

	スクラッチゴルファーの定義		ボギーゴルファーの定義	
	男子	女子	男子	女子
ハンディキャップインデックス	0	0	20 前後	24 前後
ティーショット飛距離(ヤード)	250	210	200	150
2オン可能な距離(ヤード)	470	400	370	280

■JGA/USGA ハンディキャップインデックスの計算方法

初めてハンディキャップインデックスを取得する場合は、最低5枚のスコアを提出し、下記の要領でハンディキャップインデックスが算定されます。

- ① ハンディキャップインデックスを持っていない人が初めて取得するときは、JGA/USGA ハンディキャップインデックスの上限(男子 36.4/女子 40.4)を使用してコースハンディキャップを決定し、ストロークコントロールを行う。
- ② それぞれのスコアごとに、ディファレンシャルを算出する。
- ③ ディファレンシャルは、ストロークコントロールされたスコアからコースレーティングを引き、113(標準スロープレーティング)を掛け、スロープレーティングで割り、小数第2位を四捨五入した小数第1位の数値で表示する。
- ④ 5枚のディファレンシャルのうち、最も数値の少ない1枚(ベストディファレンシャル)を選ぶ。7枚以上の採用可能なスコアがある場合は、使用するディファレンシャル枚数の平均を求める。(※スコア枚数と使用するディファレンシャル枚数はハンディキャップ計算の具体例③を参照)
- ⑤ 平均に 0.96 を乗じ、小数第2位を切り捨て、小数第1位の数値で表示したものが JGA/USGA ハンディキャップインデックスとなる。

●コースハンディキャップとは

コースハンディキャップは、プレーするコースとティーマーカーに応じてプレーヤーが受けるハンディキャップストロークです。コースハンディキャップ換算表を利用し、JGA/USGA ハンディキャップインデックスとプレーするコースのスロープレーティングによってコースハンディキャップが決まります。

または、JGA/USGA ハンディキャップインデックスにプレーするティーのスロープレーティングを掛け、これを 113 で割った後、小数第1位を四捨五入した整数で表示することもできます。

●ストロークコントロール(ESC)とは

ストロークコントロール(Equitable Stroke Control)とは、プレーヤーの潜在技量をよりハンディキャップに反映させることを目的として、ハンディキャップ査定のために各ホールのスコアを下方修正することをいいます。これは、例外的な悪いスコアがハンディキャップインデックスに過度の影響を与えることを防止するもので、コースハンディキャップに応じて各ホールの上限スコアを設定します。なお、ストロークコントロールを適用していないスコアによって査定されたハンディキャップは、JGA/USGA ハンディキャップインデックスと呼ぶことはできません。

【ストロークコントロール(ESC)】

コースハンディキャップ	1ホールのスコア上限
9 以下	ダブルボギー
10～19	7
20～29	8
30～39	9
40 以上	10

<注意>

ストロークコントロールの1ホールのスコア上限は、コースハンディキャップ「9以下」の場合は「パー+2打」となりますが、コースハンディキャップ「10～」の場合はパーに関係なく上記表の「1ホールのスコア上限」で打ち切ります。また、適用されるホール数に制限はありません。

【ストロークコントロールの実例】

例1:ハンディキャップインデックス 6.2 のプレーヤーがスロープレーティング 121 のコースでプレーした場合 換算表によりコースハンディキャップは 7 (1ホールの上限スコア:ダブルボギー)

次の場合、No.5 と No.10 のスコアを調整します。

	HOLE	1	2	3	4	5	6	7	8	9	OUT	10	11	12	13	14	15	16	17	18	IN	TOTAL
	PAR	5	4	3	4	4	3	4	4	5	36	4	4	5	3	4	4	4	3	5	36	72
コース HD7	スコア	5	6	3	3	7	2	6	4	5	41	7	4	4	3	6	4	3	5	4	40	81
	コントロール	5	6	3	3	Ⓢ	2	6	4	5	40	Ⓢ	4	4	3	6	4	3	5	4	39	79

例2:ハンディキャップインデックス 14.6 のプレーヤーがスロープレーティング 121 のコースでプレーした場合 換算表によりコースハンディキャップは 16(1ホールの上限スコア:7)

次の場合、No.8 と No.12 のスコアを調整します。

	HOLE	1	2	3	4	5	6	7	8	9	OUT	10	11	12	13	14	15	16	17	18	IN	TOTAL
	PAR	5	4	3	4	4	3	4	4	5	36	4	4	5	3	4	4	4	3	5	36	72
コース HD16	スコア	7	4	4	7	6	3	4	8	5	48	6	4	8	4	7	4	7	3	5	48	96
	コントロール	7	4	4	7	6	3	4	Ⓢ	5	47	6	4	Ⓢ	4	7	4	7	3	5	47	94

【JGA/USGA ハンディキャップインデックス計算の具体例】

- ① 初めて JGA/USGA ハンディキャップインデックスを取得する男子の場合は、ハンディキャップインデックスの上限 36.4 を使用してコースハンディキャップを決定し、ストロークコントロールを行います。

例：ハンディキャップインデックス 36.4 のプレイヤーは、スロープレーティング 124 のコースでプレーした場合
換算表によりコースハンディキャップは 40（1ホールスコア上限：10）
なお、適用できるホール数に制限はありません。

【スコアカード：コースレーティング 72.5 / スロープレーティング 124】

HOLE	1	2	3	4	5	6	7	8	9	OUT	10	11	12	13	14	15	16	17	18	IN	TOTAL
PAR	5	4	3	4	4	3	4	4	5	36	4	4	5	3	4	4	4	3	5	36	72
初めての人	9	9	4	8	6	4	7	6	8	61	6	4	8	5	7	9	6	5	8	58	119

- ② $(119(\text{ストロークコントロール後のスコア}) - 72.5(\text{コースレーティング}) \times 113 \div 124(\text{スロープレーティング})) = 42.4$ （小数第2位四捨五入）が1枚目のディファレンシャルです。
同じ方法で2枚目～5枚目のディファレンシャルを求めます。

回数	1	2	3	4	5
日付	5/3	5/5	6/22	7/20	8/15
ストロークコントロール後のスコア	119	115	108	104	99
コースレーティング	72.5	73.3	72.5	70.5	70.1
スロープレーティング	124	125	124	118	116
ディファレンシャル	42.4	37.7	32.4	32.1	*28.2

*はベストディファレンシャル

- ③ ハンディキャップインデックス算定に必要なスコア枚数によって使用するディファレンシャル枚数が異なります。最初にスコア枚数5枚または6枚で算定する場合は、ベストディファレンシャルカード1枚を使用します。スコアカードが7枚以上ある場合は、使用するディファレンシャルのベスト枚数の平均を求めます。

【ハンディキャップインデックス算定に必要なスコア枚数と使用するディファレンシャル枚数】

採用可能なスコア枚数	使用するディファレンシャル枚数
5～6	ベスト 1 枚
7～8	ベスト 2 枚
9～10	ベスト 3 枚
11～12	ベスト 4 枚
13～14	ベスト 5 枚
15～16	ベスト 6 枚
17	ベスト 7 枚
18	ベスト 8 枚
19	ベスト 9 枚
20	ベスト 10 枚

- ④ ベストディファレンシャル $28.2 \times 0.96 = 27.0$ （小数第 2 位切り捨て）となり、27.0 が JGA/USGA ハンディキャップインデックスになります。

■ JGA/USGA ハンディキャップインデックス証明書の発行について

JGA では、JGA/USGA ハンディキャップインデックスを毎月 1 日に更新することを定めています。ハンディキャップ査定のためには、プレーヤーは、ラウンド終了後速やかにスコアカードを提出しなくてはなりません。プレーした月の末日までに登録できなかったスコアは、プレー日の翌月末日までに登録してください。プレー日から起算して更新日を 2 度過ぎてしまったプレー日のスコアは登録できませんのでご注意ください。

スコアは速やかにご登録して頂きますようお願いいたします。



A4版



業書版

<NEWJ-sys に関する注意事項>

- NEWJ-sys は 2014 年より「JGA/USGA ハンディキャップ規定 (USGA ハンディキャップシステム準拠)」に準じた運用を行うため、2013 年以前のプレー日のスコアは登録できなくなります。また既に登録されている 2013 年以前のスコアは閲覧のみとなり、修正・削除を行うことはできません。
- 2014 年 1 月のプレーヤーのハンディキャップインデックスは 2013 年 12 月末のハンディキャップインデックスの数値がそのまま移行されます。(ただし、JGA ハンディキャップ規定に基づき、JGA/USGA ハンディキャップインデックスの上限(男子 36.4、女子 40.4)を超える場合は上限値となります。)その後、JGA/USGA ハンディキャップインデックスは、スコアの登録がなくても必ず毎月 1 日に更新されます。
- JGA ハンディキャップ規定では、プレーヤーはラウンド終了後できるだけ速やかにスコアを提出するように定められています。NEWJ-sys は規定に基づき、登録されたスコアの有効期限はありませんが、スコアの登録期間に以下の制限があります。


① 新規にハンディキャップインデックスを取得するプレーヤー

2014 年移行のスコアであればすべて登録できます。但し 2013 年までのスコアは登録できません。


② ハンディキャップインデックスを保持しているプレーヤー

プレー日から起算して、**更新日(毎月 1 日)を2度過ぎてしまった**スコアの登録はできません。

例 1: 2014 年 3 月 10 日にプレーしたスコアは 4 月 30 日までは登録可能ですが、5 月 1 日以降は登録できません。

	3/1 更新日	3/10 プレー日	~	3/31	4/1 更新日	4/2 ~ 4/30	5/1 更新日	5/1 以降	
			3/10 のスコア登録が可能な期間				3/10 のスコア登録は不可		
入力パターン A			3/10 のスコアを登録		最新 HD 決定				
入力パターン B			スコア入力できなかった		そのまま更新		3/10 のスコアを登録 最新 HD 決定		

例 2: 2014 年 9 月 15 日にプレーしたスコアは 10 月 31 日までは登録可能ですが、11 月 1 日以降は登録できません。

	9/1 更新日	9/15 プレー日	~	9/30	10/1 更新日	10/2 ~ 10/31	11/1 更新日	11/1 以降	
			9/15 のスコア登録が可能な期間				9/15 のスコア登録は不可		
入力パターン A			9/15 のスコアを登録		最新 HD 決定				
入力パターン B			スコア入力できなかった		そのまま更新		9/15 のスコアを登録 最新 HD 決定		

■スコアカードについて

(1)スコアの提出

プレイヤーはハンディキャップ査定のために、プレーしたコースにてラウンド終了後直ちに、スコアカードを提出しなければなりません。もし不可能な場合は、次回のハンディキャップインデックス更新日前にスコア記録が最新の状態になるよう、できるだけ速やかに提出することが定められています。

提出するスコアカードには、以下の情報が必要です。

- ① プレーヤーの名前、または Glid 番号（※Glid(グリッド)とは各ゴルファーに与えられた ID 番号を示す造語です）
- ② プレーした日付
- ③ コース名
- ④ プレーしたコースの使用ティおよび使用グリーンまたは JGA/USGA コースレーティングおよびスロープレーティング
- ⑤ グロススコア(※ストロークコントロールの調整は、NEW J-sys で行います)
- ⑥ トーナメントスコア

【スコアタイプとは】

スコアタイプ	略称	スコアの意味
ホーム		ホームまたは所属倶楽部でプレーしたスコア
アウェイ	A	ホームまたは所属倶楽部以外でプレーしたスコア
連結9ホールスコア	C	2つの9ホールスコアが連結された18ホールスコア(※Cは自動表示されます)
インターネットスコア	I	プレーヤー自身が NEW J-sys に登録したスコア(※Iは自動表示されます)
ペナルティスコア	P	スコアを提出しないプレーヤーに対して、ハンディキャップ委員会が提出するスコア
トーナメントスコア※	T	トーナメントスコアの条件を満たしている競技でプレーしたスコア(※トーナメントスコア参照)

※【トーナメントスコアの条件を満たしている競技とは】

トーナメントスコアとは、競技を管理する委員会によって開催される競技で出されたスコアをいいます。競技は正規のラウンドに基づいて優勝者を決定しなければならず、ゴルフ規則の本質に従ってプレーされなければなりません。日常的に行われている競技(オープンコンペなど)は、伝統、スケジュール、競技形態、および倶楽部の会員制度に関わる重要度が低いいため、通常はトーナメントスコアに指定されません。

<参考>

- ・JGA、地区連盟、都道府県ゴルフ競技団体が主催する競技は、予選競技を含めトーナメントスコア指定競技となります。
- ・倶楽部内競技のトーナメントスコア指定競技については、各倶楽部にお問い合わせください。

(2)査定に採用されるスコアカードについて

プレイヤーは、ゴルフ規則の本質に従い JGA/USGA コースレーティングおよびスロープレーティングのあるコースでプレーしたすべてのスコアカードを提出しなくてはなりません。但し、ハンディキャップ査定に採用できないスコアを除きます。

【ハンディキャップ査定のために提出できるスコア】

- ① ゴルフ規則の本質に従ってプレーしたスコア。但し、全ホールプレーしなかった場合も以下のホールをプレーしていればスコアを提出することができます。
 - ・9ホールスコアの提出は7ホール以上12ホール以下をプレーしなくてはなりません。
 - ・18ホールスコアの提出は最低13ホールをプレーしなくてはなりません。なお、プレーしなかったホールには最も可能性の高いスコアとしてそのホールのパーにそのホールでプレーヤーが受けるハンディキャップストロークを加えたスコアと略称コード「X」を記入して提出します。
- ② アクティブシーズン中、JGA/USGA コースレーティングおよびスロープレーティングを持つホームとアウェイコースでプレーしたスコア。
- ③ マッチプレーおよびストロークプレーのスコア。マッチプレー形式、複数ボール形式、チーム戦形式においてホールアウトしていないホールがある場合やそのホールの負けが決定して球をピックアップした場合も含まれます。
- ④ プレーヤーがスコアカードの署名を怠って競技失格となった場合でも、ハンディキャップ査定に採用可能なスコアであれば提出してください。

【ハンディキャップ査定に採用できないスコア】

- ① プレーしたホールが7ホール未満の場合
- ② 18ホールのコースで距離が3,000ヤード未満(9ホールコースは1,500ヤード未満)の場合
- ③ 競技の条件としてクラブの本数が14本未満に制限されている場合、または使用できるクラブの種類が制限されている場合
- ④ JGA/USGA コースレーティングおよびスロープレーティングを持たないコースでプレーした場合
- ⑤ 不適合クラブ、不適合球、または不適合ティーベグを使用した場合
- ⑥ ゴルフ規則 14-3 に関連して、ストローク中に人工の機器や異常な用具を使用したり、用具を異常な方法で使用した場合

■ハンディキャップインデックスの使い方

ゴルフクラブが発行する JGA/USGA ハンディキャップインデックスは、スロープレーティング 113(標準難易度)のコースにおけるプレーヤーの潜在技量を示した数値です。プレーヤーは自身のハンディキャップインデックスをその日にプレーするコースのコースハンディキャップに換算して使用しなくてはなりません。レーティング査定された各ティーには、それぞれのスロープレーティングに基づいて男女別々にコースハンディキャップ換算表が設置されています。または、JGA/USGA ハンディキャップインデックスにプレーするティーのスロープレーティングを掛け、これを113で割った後、端数を四捨五入した整数で表示することもできます。

JGA/USGA ハンディキャップインデックス	コース ハンディキャップ	JGA/USGA ハンディキャップインデックス	コース ハンディキャップ
+9.9 ~ +9.9	+12	13.3 ~ 14.1	16
+9.8 ~ +9.0	+11	14.2 ~ 14.9	17
+8.9 ~ +8.2	+10	15.0 ~ 15.8	18
+8.1 ~ +7.3	+9	15.9 ~ 16.6	19
+7.2 ~ +6.5	+8	16.7 ~ 17.5	20
+6.4 ~ +5.6	+7	17.6 ~ 18.4	21
+5.5 ~ +4.8	+6	18.5 ~ 19.2	22
+4.7 ~ +3.9	+5	19.3 ~ 20.1	23
+3.8 ~ +3.0	+4	20.2 ~ 20.9	24
+2.9 ~ +2.2	+3	21.0 ~ 21.8	25
+2.1 ~ +1.3	+2	21.9 ~ 22.6	26
+1.2 ~ +0.5	+1	22.7 ~ 23.5	27
+0.4 ~ 0.4	0	23.6 ~ 24.3	28
0.5 ~ 1.2	1	24.4 ~ 25.2	29
1.3 ~ 2.1	2	25.3 ~ 26.1	30
2.2 ~ 2.9	3	26.2 ~ 26.9	31
3.0 ~ 3.8	4	27.0 ~ 27.8	32
3.9 ~ 4.7	5	27.9 ~ 28.6	33
4.8 ~ 5.5	6	28.7 ~ 29.5	34
5.6 ~ 6.4	7	29.6 ~ 30.3	35
6.5 ~ 7.2	8	30.4 ~ 31.2	36
7.3 ~ 8.1	9	31.3 ~ 32.1	37
8.2 ~ 8.9	10	32.2 ~ 32.9	38
9.0 ~ 9.8	11	33.0 ~ 33.8	39
9.9 ~ 10.7	12	33.9 ~ 34.6	40
10.8 ~ 11.5	13	34.7 ~ 35.5	41
11.6 ~ 12.4	14	35.6 ~ 36.3	42
12.5 ~ 13.2	15	36.4 ~ 36.4	43

【例】

Aカントリー倶楽部 男子バックティー
 スロープレーティング：132
 JGA/USGA コースレーティング：72.1
 JGA/USGA ハンディキャップインデックス **6.5**
 コースハンディキャップ **8**

■ 27 ホール競技のコースハンディキャップの決め方

27 ホール競技の場合は、18 ホールのコースハンディキャップと 9 ホールのコースハンディキャップを合計して 27 ホールのコースハンディキャップとします。

例 Aカントリー倶楽部 男子バックティー

コースレーティング：72.1 スロープレーティング：132

JGA/USGA ハンディキャップインデックス 6.5

(1) 18 ホールのコースハンディキャップを換算表から求める

ハンディキャップインデックス 6.5 → コースハンディキャップ 8

(2) 9 ホールのコースハンディキャップを出す

① ハンディキャップインデックス 6.5 を 2 で割り、小数第 2 位を切り上げる

$$6.5 \div 2 = 3.25 \rightarrow 3.3$$

② ハンディキャップインデックス 3.3 換算表から→ コースハンディキャップ 4

③ 18 ホールのコースハンディキャップ 8 と 9 ホールのコースハンディキャップ 4 を合計する

$$8 + 4 = 12$$

27 ホールのコースハンディキャップは 12

■スロープシステムを使ってプレーをした場合

(1)コースハンディキャップの変動幅

例：ハンディキャップインデックスの差とコースハンディキャップの差を比較してみましょう。

変動幅の違いが、プレーヤーの技量差を公平に補ってくれます。

例	ハンディキャップ インデックス	バック CR: 75.2 スロープ: 140	レギュラー CR: 71.8 スロープ: 130	フロント 1 CR: 68.4 スロープ: 120	フロント 2 CR: 66.0 スロープ: 113	ゴールド CR: 61.4 スロープ:100
A 氏	0.0	0	0	0	0	0
B 氏	5.0	6 差(+1)	6 差(+1)	5 差(±0)	5	4 差(-1)
C 氏	15.0	19 差(+4)	17 差(+2)	16 差(+1)	15	13 差(-2)
D 氏	30.0	37 差(+7)	35 差(+5)	32 差(+2)	30	27 差(-3)

- ・プレーヤーの技量が低くなるほど、変動幅が大きくなる
- ・コース難易度が高くなるほど、変動幅が大きくなる

(2)ターゲットスコア

例：各自の目標スコアを想定してみましょう。

誰でも実力に見合った目標に向かってチャレンジを楽しめます。

例	ハンディキャップ インデックス	バック CR: 75.2 スロープ: 140	レギュラー CR: 71.8 スロープ: 130	フロント 1 CR: 68.4 スロープ: 120	フロント 2 CR: 66.0 スロープ: 113	ゴールド CR: 61.4 スロープ: 100
A 氏	0.0	75	72	68	66	61
B 氏	5.0	81 コース HD(6)	78 コース HD(6)	73 コース HD(5)	71 コース HD(5)	65 コース HD(4)
C 氏	15.0	94 コース HD(19)	89 コース HD(17)	84 コース HD(16)	81 コース HD(15)	74 コース HD(13)
D 氏	30.0	112 コース HD(37)	107 コース HD(35)	100 コース HD(32)	96 コース HD(30)	88 コース HD(27)

- ・ターゲットスコアをマークできる想定確率は約4回に1回
- ・ターゲットスコア＝コースレーティング(CR)＋コースハンディキャップ(小数以下四捨五入)

■異なるティーインググラウンドを使用する競技、男女が同じティーインググラウンドを使用する競技について

倶楽部内競技などで異なるティーインググラウンドを使用したり、男女混合で競技を行う場合のハンディキャップについては以下のように調整することができます。

(1) 異なるティーインググラウンドを使用する競技 男子 VS 男子、女子 VS 女子、男子 VS 女子

JGA/USGA コースレーティングの高いティーを使用するプレーヤーは、双方の JGA/USGA コースレーティングの差(端数を四捨五入した整数)をコースハンディキャップに追加します。

例1: 男子ミドルティー70.3を使用 VS 男子バックティー72.6を使用

$$72.6 - 70.3 = 2.3 \rightarrow \text{四捨五入} \rightarrow 2$$

男子バックティー使用のプレーヤーはコースハンディキャップに2打を追加する

例2: 女子フォワードティー73.4を使用 VS 男子ミドルティー70.9を使用

$$73.4 - 70.9 = 2.5 \rightarrow \text{四捨五入} \rightarrow 3$$

女子フォワードティー使用のプレーヤーはコースハンディキャップに3打を追加する

(2) 同じティーインググラウンドを使用する競技 男子 VS 女子

同じティーインググラウンドの場合、通常女子の JGA/USGA コースレーティングが高いため、女子は双方の JGA/USGA コースレーティングの差(端数を四捨五入した整数)をコースハンディキャップに追加します。

例: 女子ミドルティー77.3を使用 VS 男子ミドルティー70.9を使用

$$77.3 - 70.9 = 6.4 \rightarrow \text{四捨五入} \rightarrow 6$$

女子ミドルティー使用のプレーヤーはコースハンディキャップに6打を追加する

※これらの調整は、別の方法として、JGA/USGA コースレーティングが低いティーを使用するプレーヤーのコースハンディキャップから該当するストロークを差し引くことも可能です。

■マッチプレーにおけるハンディキャップアローワンスについて

シングルマッチプレーでは、2人のプレーヤーのコースハンディキャップの差(100%)をハンディキャップの多いプレーヤーが受け、ハンディキャップの少ないプレーヤーはスクラッチでプレーします。

例: コースハンディキャップ 17 のプレーヤーは、コースハンディキャップ 13 のプレーヤーからハンディキャップストローク4打を受け、ハンディキャップナンバー1から4のホールで1打ずつ受ける。

※シングルマッチプレー以外の競技方法のハンディキャップアローワンスについては、JGA ハンディキャップ規定(第9章-4 項)をご覧ください。

■ハンディキャップストロークプレー競技でのマッチングスコアカード方式について

マッチングカードの方法は、プレーオフを行えない状況でタイの競技者が数人いた場合、最後の9ホールの合計スコアを比較し、最も成績の良い競技者を優勝者とする方法で、最後の9ホールの合計スコアが同じであったときは最後の6ホールの合計スコア、それも同じであったときは最後の3ホールの合計スコアに基づいて優勝者を決めます。個人戦ストローク競技などで、最後の9ホール、6ホール、3ホールというマッチングの方法が使われる場合、それぞれコースハンディキャップの 1/2、1/3、1/6(端数は四捨五入)がそれぞれのホールの合計スコアから差し引かれます。

例:コースハンディキャップ 11 のプレーヤーA とコースハンディキャップ 10 のプレーヤーB の 18 ホールネットスコアが同じだった場合

1. 最後の9ホールを比較

ホール	10	11	12	13	14	15	16	17	18	
プレーヤーA (コースハンディキャップ 11)	4	6	5	4	3	4	5	6	3	40
プレーヤーB (コースハンディキャップ 10)	5	4	4	4	4	4	5	5	4	39

プレーヤーA: $11 \times 50\% = 5.5$ (四捨五入) $\rightarrow 6$ $40 - 6 = 34$

プレーヤーB: $10 \times 50\% = 5$ $39 - 5 = 34$

※まだ同じスコアでした。

2. 最後の6ホールを比較

ホール	10	11	12	13	14	15	16	17	18	
プレーヤーA (コースハンディキャップ 11)	4	6	5	4	3	4	5	6	3	40
プレーヤーB (コースハンディキャップ 10)	5	4	4	4	4	4	5	5	4	39

プレーヤーA: $11 \times 33\% = 3.6$ (四捨五入) $\rightarrow 4$ $25 - 4 = 21$

プレーヤーB: $10 \times 33\% = 3.3$ (四捨五入) $\rightarrow 3$ $26 - 3 = 23$

※従ってプレーヤーA の勝ち

■ゴルフ規則からみたハンディキャップ規定

平成 16 年に「JGA ハンディキャップ規定」改正があり、それについていろいろな質問や論議を耳にしました。また、2014 年より実施が決まった「JGA/USGA ハンディキャップ規定(USGA ハンディキャップ準拠)」についても、当時と同じような声が聞かれます。

それらを要約すると次の点です。

- そのようなハンディキャップインデックスの必要性(JGA/USGA ハンディキャップインデックスや小数表示)
- JGA/USGA ハンディキャップインデックス取得の方法とその適用について
- スロープレーティングを用いた運用について

一般にゴルフ規則とハンディキャップ規定の管轄は別なものと考えられています。ゴルフ規則の総本山の R&A も、R&A 発行の競技運営ガイダンスの中で、ハンディキャップについての諸規定は各国のゴルフ統轄団体(日本では JGA)が管轄するもので、それに加盟する倶楽部はその規定に従わなければならないと述べています。またハンディキャップを適用する際は、その競技委員会が適用方法を規定するものとしています。その競技の条件についても、2014 年ゴルフ規則では定義(49)規則でゴルフ規則に含まれると明記されています。これらを考え合わせるとゴルフ規則とハンディキャップは全く別物というわけでもなく、ゴルフ規則の視点でハンディキャップ規定を考えてみることにしてみました。

ゴルフ規則書の初めの部分で、ゴルフの精神について 2 箇所ですべて述べられています。

「ゴルフ規則の本質と精神について」

「ゴルフの精神」

どちらも内容は同じようなもので、ゴルフはほとんどの場合レフリーが立ち会うことのない自律のゲームであり、プレーヤーひとりひとりが他のプレーヤーに心くばりし、ルールを守ってプレーするという誠実さに頼っている。規則はプレーヤーが故意に不正をおかす者はいないということが基本的な考え方であると述べています。

1. 一般ゴルファーの、ゴルフ規則とハンディキャップに対する倫理観の違い。

一般ゴルファーのプレーの規則についての倫理レベルは非常に高く、規則違反はありますが、そのほとんどは不注意やプレー上のミス、勘違い、ルール知らず、などによるもので、故意に不正をおかすプレーヤーは皆無とは云いませんが極めて稀少なものです。これに比較して「ゴルフの精神」の視点からハンディキャップ規定を見ると次のようになると思います。“ゴルファーは自分の現在のゴルフ技量を公式な標準規定に基づくハンディキャップで示す責任がある。”ということになります。したがって意図的に実力より多い、あるいは少ないハンディキャップや、または正確な自分のハンディキャップを示す努力を怠っているプレーヤーは、すべて他のプレーヤーに迷惑をかけ、競技意欲を喪失させてしまい、ゴルフの精神という誠実さに欠けていると言わざるを得ません。

現状ではプレーの規則に対する倫理観とはかなり違うゴルファーが多いと言えます。但し人によっては、自分は家族や特定の仲間とマッチプレーしかやらないから公式のハンディキャップインデックスは不要と考える人もおられますので、これらの人も含めて不誠実と言っているわけではありません。しかし多くのゴルファーは、クラブ競技や不特定の人達との競技に参加する機会を有しているわけですから正しいハンディキャップを示す責任はあると考えるべきです。

JGA ハンディキャップ規定(USGA ハンディキャップシステム準拠)では、その発給に当たって最低 5 枚のラウンドスコアカードの提出を義務づけていますが、何より大切なことは“自分の現在の正しいハンディキャップインデック

スを示す責任”について“プレーの規則を守る”ことと同じレベルの倫理観をもつべきということでしょう。

通常の楽しみのラウンドではストロークプレーでありながら、いわゆる OK パットでホールアウトを省略したスコアカードや、サインミスや過少申告による失格カード、あるホールで 4 オーバーパーや 5 オーバーパーのスコアをダブルボギーや 7 にコントロールしたカードも、ハンディキャップ取得のためのカードとしては有効であると認められています。「正しいハンディキャップを示す責任」を基本的に考えれば容易に理解できるものです。

一方プレーヤーが規定に基づいた有効なスコアカードを提出しているのに倶楽部委員会が観念的にハンディキャップインデックスをコントロールすることはプレーヤーの権利をスポイルするもので、認められないことも理解できますし、プレーの規則でいえば認められないローカルルールと同じようなものです。

2. ゴルフ規則は世界共通であるべきことは誰からも支持されますが、ハンディキャップについては、世界共通はおろか国内共通の必要性も認知されるには長い年月が必要と思われます。

ゴルフ規則は最初に成文化されたのは 1744 年のことで、当初はマッチプレーですから他律規範であったと思われますが、徐々にストロークプレーが多くなると規則も変更や追加が行われ、世界共通のものが必要となり、統一されたのは 1952 年です。用具やローカルルールも含めた世界共通の認識は 2002 年のことです。この長い年月をかけ多くの先輩が経験と英知を傾け、ゴルフ規則は自律のものであると哲学化したものと思われます。

ハンディキャップもゴルフゲームが当初はマッチプレーですから両サイドで決めればよいのですが、ストロークプレーになると競技者一人が他のすべての競技者と利害関係があるので全員が納得できるハンディキャップを一人一人がもつことは至難のことです。

ゴルフプレーの規則も歴史的にマッチプレーからストロークプレーへの試練を受けているわけですが、一つは、ゴルフは自律のゲームとの哲学をもち、もう一つは、規則に違反したとき調整の意味としての罰を「反則で得られる利益以上のもの。」(USGA リチャード・タフト氏)として規定し、乗り越えてきたものと思われます。その意味ではハンディキャップ規定の最新のベストディファレンシャルを採用することや、オーバーパーホールの足きりなどの規定をみれば、他のすべての競技者の納得が得られる点ではプレー規則との整合はとれているのではないかと思います。

日本や米国ではゲームはストロークプレーが盛んですが、英国では大部分がマッチプレーです。R&A も競技運営ガイドランスの中で、その査定は管轄外としても、適用について述べている事項も、その大部分がハンディキャップ付きマッチプレーについて費やされています。

ゴルフの競技やルールの統轄団体としての創立は、R&A 1753 年、USGA 1894 年、JGA 1924 年ですが、いずれもその国にはその前からいくつかのゴルフ倶楽部があり、競技もルールも見よう、見まねで行われていたわけです。規則でいえば、さまざまな倶楽部のローカルルールをゼネラルルールに基づくものに統一してきたような経緯があります。ハンディキャップも同じようなもので、JGA ハンディキャップ規定が 1978 年制定されましたが、その頃すでに日本には 1,000 コースほどあり、実際的には倶楽部ハンディキャップで行われていました。その後、現在ではコースの数もゴルファーも大きく増え、個々のゴルファーも国内の多くのコースでプレーし、さらに海外

のコースでもゴルフを楽しむように様変わりしています。JGA/USGA ハンディキャップインデックスも対象はこの個々のゴルファーで、彼等がJGA/USGAハンディキャップインデックスを持ってプレーすることが最も公平で楽しく、やり甲斐があると思うようになるには長い時間がかかることは止むを得ないと思いますが、着実にその方向は進ませるべきだと思います。

■ 倶楽部のハンディキャップ委員会について

ハンディキャップ委員会は、JGA ハンディキャップ規定(USGA ハンディキャップシステム準拠)の根幹です。委員会はJGA ハンディキャップ規定(USGA システム準拠)を正しく実施・運用し、それぞれが発行するJGA/USGA ハンディキャップインデックスを保全し、会員がJGAハンディキャップ規定(USGA システム準拠)を順守するように務めなければなりません。ハンディキャップ委員会は各会員のJGA/USGAハンディキャップインデックス計算を含むJGAハンディキャップ規定(USGA システム準拠)のすべてに関して責任を持っています。

1. 会員へ各通知をする
 - ① スコアの提出方法
 - ② JGA/USGA ハンディキャップインデックスの更新
 - ③ JGA/USGA ハンディキャップインデックス証明書の発行
 - ④ JGA/USGA ハンディキャップインデックスの修正に関する責任
 - ⑤ スコアの提出を怠ったプレーヤーに対するペナルティー
 - ⑥ トーナメントスコアの対象となる競技
2. JGA/USGA コースレーティングおよびスロープレーティングをスコアカードなどに表示する
3. コースハンディキャップ換算表を適切な場所に掲示する
4. 競技結果を検査し、非常に優れたネットスコアのプレーヤーがいる場合、規定に基づいた措置をとる
5. プレーヤーの記録の管理に責任を持つ
6. 新規会員が入会時に有効な JGA/USGA ハンディキャップインデックスを取得していた場合は、そのスコア記録を入手する。もし入手できない時は、最低5枚のスコアを提出して更新日に JGA/USGA ハンディキャップインデックスを取得するか、5枚に満たない期間の暫定措置として修正ハンディキャップを発行する。初めて JGA/USGA ハンディキャップインデックスを取得する新規会員は、採用可能なスコアが5枚未満の場合は JGA/USGA ハンディキャップインデックスを発行してはならない
7. 倶楽部を退会した会員の記録は、最低1年間は保存する
8. スコア記録や NEW J-sys による計算結果を検証する
9. JGA/USGA ハンディキャップインデックス証明書を発行する
10. 他の委員会と協議する主な事項
 - ・ハンディキャップホールのハンディキャップナンバーの割り当て
 - ・コースセッティングおよびパーの設定
 - ・コースの状態が不良な場合のスコア提出中断の決定
 - ・トーナメントスコア指定の可否
 - ・コース難易度の維持
 - ・プリファードライに関するローカルルールの採用

■よくある質問

Q: ハンディキャップインデックスとコースハンディキャップが必要な理由は？

A: ハンディキャップインデックスは標準的なコースにおけるプレーヤーの潜在技量を表し、コースハンディキャップは特定のティーメーカーから JGA/USGA コースレーティング通りにプレーするために必要なハンディキャップストローク(整数)を表す。ハンディキャップインデックスがないとコースハンディキャップを算出できない。

Q: インデックスを換算表に当てはめてコースハンディキャップに換算したのに、何故ティーが違うとさらに追加調整が必要なのですか？

A: コースハンディキャップは、そのプレーヤーがそのティーからプレーする際のハンディキャップなので、違うティーからプレーするプレーヤーと基準を合わせるために、更なる調整が必要なのです。

Q: コースハンディキャップが 18 を超える場合、19 番目のハンディキャップストロークはどこで受けるのか？

A: 各ホールには 1~18 のハンディキャップナンバーが割り振られており、19 番目のハンディキャップストロークはハンディキャップナンバー「1」のホールに追加する(つまりこのホールで受けるハンディキャップストロークは 2)。

Q: ホールアウトせずに球をピックアップした場合、提出するスコアは？

A: ハンディキャップ査定のためにスコアを提出する場合、そのホールには最も可能性の高いスコアを記入する。最も可能性の高いスコアとは、そのホールで実際に費やしたストロークに、50 パーセント以上の確率でそこからホールアウトするまで費やすであろうとプレーヤー自身が判断したストローク数を足したものである。このような場合には、ストロークコントロール(ESC)の上限値をホールスコアとして記入しないように注意すること。ESC 調整は必ずラウンド終了後に行い、実際のスコアまたは最も可能性の高いスコアが ESC の上限を超えるホールのみ適用する。

Q: 4 & 3 でマッチに負けたため 15 ホールでプレーを終了した。18 ホールのスコアを提出することはできるか？

A: できる。プレーしなかったホールには、各ホールのパーと、そこで受けるハンディキャップストローク(コースハンディキャップ 100%を適用)を足したスコアを記入する。

Q: ケガや病気のためにプレーしていなかった場合、ハンディキャップインデックスを調整できるか？

A: できる。所属する倶楽部のハンディキャップ委員会は、倶楽部内の使用に限定したローカルハンディキャップ(L)としてプレーヤーのハンディキャップインデックスを増やすことができる。詳しくは、JGA ハンディキャップ規定(USGA ハンディキャップシステム準拠)の第 8-4c(iii)項、裁定 8-4c/1、8-4c/2 を参照。

Q: スコアを提出しない場合、間違ったスコアを提出した場合は？

A: できるだけ速やかにスコアを提出すること。もし未提出のスコアがある場合、ハンディキャップ委員会は、ベストディファレンシャルまたはワーストディファレンシャルに相当するスコアをペナルティスコアとして提出することができる。また頻繁にスコア提出を怠った場合は、ハンディキャップ委員会はハンディキャップインデックスを修正したり、停止することができる。

プレーヤーが間違ったスコアを提出した場合、所属する倶楽部のハンディキャップ委員会はこれを訂正することができる。

Q: 数年間プレーしていなかった場合、ハンディキャップインデックスはどうなりますか？

A: 一度取得したハンディキャップインデックスは、スコア提出がなくても毎月更新されます。NEW J-sys に登録したスコアの有効期限はありません。

Q: JGA/USGA ハンディキャップインデックスを持つプレーヤーが、長期間ゴルフのプレーを辞めていたが、再びプレーを再開した。このプレーヤーは以前の JGA/USGA ハンディキャップインデックスを使用すべきか？それとも新たに取得すべきか？

A: 予定されている次回のハンディキャップ更新日まで、そのプレーヤーは JGA/USGA ハンディキャップインデックスを持たない状態となる。但し、プレーヤーのスコア記録に最低5枚のスコアが登録されている場合、所属する倶楽部のハンディキャップ委員会は、ハンディキャップ更新日の前に、修正ハンディキャップインデックス(ハンディキャップインデックス(M))を発行することができる。プレーを再開した時点でスコア記録が登録されていない場合は、5枚のスコアが提出されてハンディキャップ更新が実施されるまで、そのプレーヤーは JGA/USGA ハンディキャップインデックスを持たない状態となる。

Q: 複数の倶楽部に所属している場合、すべての倶楽部で同じハンディキャップインデックスを発行できるか？

A: 複数の倶楽部に所属するプレーヤーは、その中から1つをホーム倶楽部として登録し、ホーム倶楽部からハンディキャップインデックスの発行を受ける。

Q: 倶楽部が独自に運用するハンディキャップ計算システムを通して JGA/USGA ハンディキャップインデックスを発行できるか？

A: できない。JGA が運用する JGA/USGA ハンディキャップ査定システム NEW J-sys を通してのみ発行することができる。